

東北版

東北支社

仙台市青葉区本町三丁目5番3号
(佐新ビル3階)
☎ 022 (224) 0123 代表
FAX 022 (267) 6827

災害国際研究所を設立へ

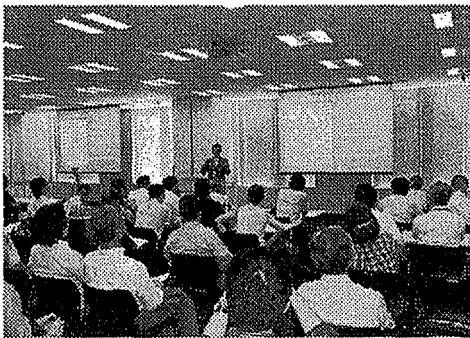
東日本大震災6か月後報告会 東北大学

東日本大震災から6か月を経て、東北大学は「復興に向けての大学の役割」をテーマにした報告会を13日、仙台市の仙台トラス・タワーで開いた。

井上明久総長は「東日本大震災を契機に、災害科学国際研究所を大学内に設立する」と語り、従来の防災・減災対策では対応できない課題を、被災

した岩手大、福島大などとともに、災害リスク、人間・社会への対応、地域・都市再生、災害理学などを研究分野としていくことを明らかにした。

会場には、行政関係者や市民ら300人が参加。宮城県伊藤和彦震災復興企画部長は「宮城県での取り組みと東北大学への期待」をテーマに、また、神戸



市の太田敏一危機管理室専門官が「阪神・淡路大震災からの神戸市の復興計画策定とその実施」についてそれぞれ講演。太田氏は、次世代型都市のための

社会資本整備の視点の重要性を指摘した。

「津波に強いまちづくりへの取り組み」仙台市沿岸部」をテーマに研究状況を発表した東北大学大学院工学研究科付属災害制御研究センターの越村俊一准教授は、津波シミュレーションを活用した復興まちづくりのために、海岸堤防・防潮堤・二線堤の多重防護により浸水面積の最小化とともに、津波に強い家屋構造の検討の必要性などを強調した。